

ONE

OCEAN NETWORK EXPRESS

2025年度第 2 四半期決算説明資料

2025年11月4日

1.	2025年度第2四半期決算概要	P.3
2.	主要航路別積高・消席率・運賃指数	P.4
3.	2025年度通期見通し	P.5
4.	足元の事業環境の変化への対応	P.6
5.	参考資料（船隊構成、航路構成、新造船発注残）	P.7
6.	Appendix 北米航路運賃・荷動き推移	P.8

1. 2025年度第2四半期決算概要

□ 要点

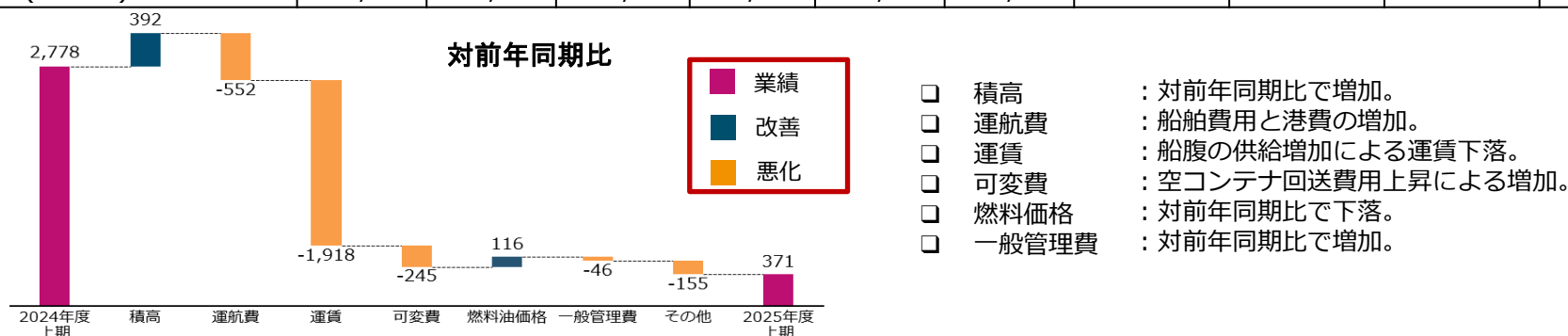
第2四半期の運賃は、堅調な荷動きが続く一方で、関税をめぐる不確実性の影響を受け不安定な推移となった。運賃水準は前年同期比で大幅に低下。事業環境の悪化や売上高減少が見られるも、第2四半期は285百万US\$の黒字。

- 第2四半期の平均運賃は第1四半期をわずかに上回ったが、当該四半期末にかけて短期運賃は下落傾向で推移した。
- 7月には、米国の関税措置の適用停止期限を見据えた前倒し出荷が見られ、特に北米航路で荷動きが一時的に増加した。
- 上期を通して新造船竣工が進み世界的に船腹供給量が増加する一方、喜望峰経由ルートの利用長期化が船腹を一定程度吸収した。

□ 2025年度2Q実績並びに対前年同期比較

(単位: 百万 US\$)

	2024年度			2025年度			2Q 対前年同期比		上期 対前年同期比	
	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	増減	増減 (%)	増減	増減 (%)
売上高	4,211	5,864	10,075	4,049	4,455	8,504	-1,409	-24%	-1,571	-16%
EBITDA	1,217	2,386	3,603	616	881	1,497	-1,505	-63%	-2,106	-58%
EBIT	667	1,865	2,532	38	282	320	-1,583	-85%	-2,212	-87%
税引後損益	779	1,999	2,778	86	285	371	-1,714	-86%	-2,408	-87%
燃料油価格 (US\$/MT)	\$594	\$585	\$589	\$535	\$518	\$526	-\$67	-12%	-\$63	-11%
総燃料消費量 (K MT)	900	969	1,869	950	1,005	1,955	36	4%	86	5%
総積高 (K TEU)	3,142	3,291	6,433	3,165	3,323	6,488	32	1%	55	1%



2. 主要航路別積高・消席率・運賃指数

航路別積高・消席率		2024年度						
		1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	3Q 実績	4Q 実績	下期 実績	通期 実績
北米往航	積高 (千TEU)	673	730	1,403	713	633	1,345	2,748
	消席率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
欧州往航	積高 (千TEU)	434	451	886	418	426	845	1,730
	消席率	100%	97%	98%	93%	90%	92%	95%

2025年度		
1Q 実績	2Q 実績	上期 実績
672	711	1,383
94%	91%	92%
456	501	957
90%	91%	91%

北米復航	積高 (千TEU)	290	281	571	271	254	525	1,096
	消席率	43%	39%	41%	40%	37%	38%	40%
欧州復航	積高 (千TEU)	245	244	490	237	249	487	976
	消席率	48%	45%	46%	47%	44%	46%	46%

217	206	423
27%	24%	26%
247	260	507
35%	36%	36%

(2018年度1Qの各航路総平均運賃を100とした指数)

航路別運賃指数		2024年度						
		1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	3Q 実績	4Q 実績	下期 実績	通期 実績
北米往航		137	195	167	159	146	153	160
欧州往航		201	293	248	218	204	211	230

2025年度		
1Q 実績	2Q 実績	上期 実績
131	132	131
154	164	160

- **積高・消席率:** 北米往航の第2四半期の積高は、第1四半期に続き、前四半期比で増加。7月に米国の関税発動を見据えた前倒し出荷が発生し、貨物量が一時的に急増した。船腹の供給増加に伴い消席率は低下。欧州往航においても第1四半期に続き、前四半期比で積高が増加。供給増加や繁忙期の早期終了が見られるも、消席率はわずかに上昇した。
- **運賃指数:** 第2四半期の短期運賃は、供給増加による下落圧力が続いたものの、北米往航および欧州往航とも前四半期比でやや上昇した。

3. 2025年度通期見通し

□ 要点

- 2025年度通期の業績見通しに関しては、新造船の竣工が今後も継続し、全体の市場環境に影響を及ぼす見込みである。
- 紅海情勢を背景に、引き続き船舶が喜望峰経由で運航を行う見通しである。
- グローバル環境については、関税・米通商代表部 (USTR)による措置の影響など、不確実性が依然として大きい。
- 全体の市場環境は当初の想定ほど堅調とはならない可能性があるものの、これらの国際的動向を注視し、変化する環境にも柔軟に対応できるよう、オペレーション上での機動性を維持していく。

□ 2025年度通期見通し

(単位: 百万 US\$)

今回予想					
	Q1	Q2	上期	下期	通期
	実績		見通し		
売上高	4,049	4,455	8,504	7,996	16,500
EBITDA	616	881	1,497	1,103	2,600
EBIT	38	282	320	-70	250
税引後損益	86	285	371	-61	310

(単位: 百万 US\$)

前回予想			
	上期	下期	通期
	見通し		
売上高	8,800	8,300	17,100
EBITDA	1,500	1,100	2,600
EBIT	400	0	400
税引後損益	550	150	700

4. 足元の事業環境の変化への対応

発生事象

- 不安定な関税政策が第2四半期の市場環境に影響を及ぼした。
- 米国の新たな関税発動を見越した出荷前倒し需要が集中したことにより、アジア/北米航路の取扱量は回復し、過去最高水準に達した。
- 新造船の継続的な投入により供給は増加し、第2四半期には主要東西航路のスポット運賃が急落した。
- 地政学的リスクにより、引き続き船舶の喜望峰経由での迂回航行が必要となり、一部の船腹を吸収した。
- 北アジアでは悪天候の影響により港湾混雑が悪化した一方、北欧州港湾での混雑は夏の終わりにかけて徐々に緩和した。



ONE の対応

- イールドマネジメント強化および収益最大化を目的として、貨物ポートフォリオやPS5をはじめとする配船計画の継続的な見直しを実施。
- 紅海/アデン湾情勢によるサプライチェーンの混乱を最小限に抑えるべく、機動的な対応を維持。
- 顧客への影響を最小限に抑えるべく、米国の関税政策やUSTRの動向を含む不確実な情勢を引き続き注視。
- 各地の港湾混雑に伴うサプライチェーンの混乱の影響を最小化すべく、機動的な対応を実施。



荷動きに応じた柔軟な配船およびコンテナフローの最適化によりオペレーション効率を最大化

5. 参考資料（船隊構成・航路構成・新造船発注残）

船隊構成

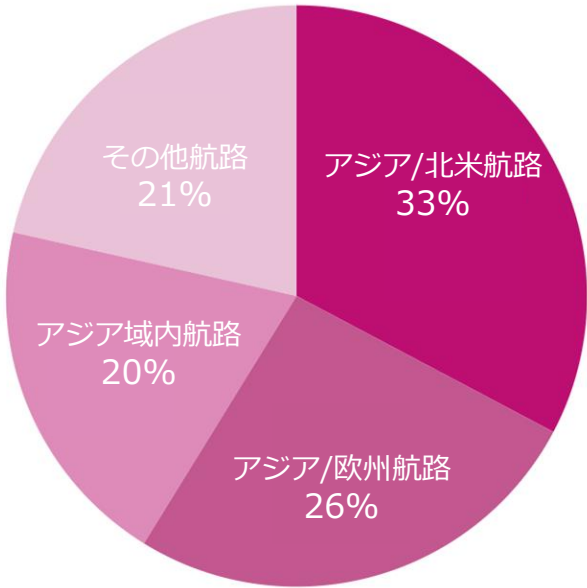
Size					1)2025年 6月末時点	2) 2025年 9月末時点	2)-1)	
20,000	TEU	>=			Capacity (TEU)	264,600	264,600	0
					Vessels	12	12	0
10,500	TEU	-	20,000	TEU	Capacity (TEU)	741,096	747,088	5,992
					Vessels	53	53	0
9,800	TEU	-	10,500	TEU	Capacity (TEU)	110,200	100,474	-9,726
					Vessels	11	10	-1
7,800	TEU	-	9,800	TEU	Capacity (TEU)	337,720	346,492	8,772
					Vessels	38	39	1
6,000	TEU	-	7,800	TEU	Capacity (TEU)	240,665	240,665	0
					Vessels	36	36	0
5,200	TEU	-	6,000	TEU	Capacity (TEU)	28,116	39,048	10,932
					Vessels	5	7	2
4,600	TEU	-	5,200	TEU	Capacity (TEU)	78,068	78,068	0
					Vessels	16	16	0
4,300	TEU	-	4,600	TEU	Capacity (TEU)	62,869	62,869	0
					Vessels	14	14	0
3,500	TEU	-	4,300	TEU	Capacity (TEU)	70,984	66,734	-4,250
					Vessels	17	16	-1
2,400	TEU	-	3,500	TEU	Capacity (TEU)	106,549	103,582	-2,967
					Vessels	39	38	-1
1,300	TEU	-	2,400	TEU	Capacity (TEU)	25,393	23,599	-1,794
					Vessels	15	14	-1
1,000	TEU	-	1,300	TEU	Capacity (TEU)	16,025	16,073	48
					Vessels	15	15	0
0	TEU	-	1,000	TEU	Capacity (TEU)	0	936	936
					Vessels	0	1	1
合計					キャパシティ(TEU)	2,082,285	2,090,228	7,943
					隻数	271	271	0

新造船発注残（新造長期傭船含む）

	2025年 6月末時点	2025年度 2Q デリバリー	2025年度 2Q 新規発注	2025年 9月末 時点
新造船発注残 (隻数)	54	3	0	51

航路構成

(2025年度2Q 往復スペースの構成
アロケーション)



6. Appendix 北米航路運賃・荷動き推移

